

韓国社会の理解と大韓民国の使命

パク チョン キュウ (2002 博卒)

(9) 新しい国の憲法と政治制度

前回は1948年5月10日にあった国会議員の選挙について話した。男女平等に選挙権と被選挙権がある平等選挙、普通選挙であった。300人のなかで、済州の2人と北韓地域の分100人を除いた198人の国会議員が選ばれた。それで、5月31日に国会が開会した。初代国会議員長は73歳の李承晩(イ・スンマン)であった<写真1参照>。



<写真1. 1948年5月31日開かれた制憲国会 * >

新しい国を作るために必要なのは憲法であり、国会は6月1日、各地域を代表する10人を選び、また、その10人が各地域の法律の専門家30人を選んで憲法起草委員会を作った。

憲法起草委員会は1948年6月3日から22日までの会議で新しい国を建設

するために必要なものを決めた。前回で話したように国名を大韓民国と決めた（京機短信 No.251、No. 255 参考）。義務教育は小学校までで、国会は両院制ではなくて一院制とした。問題は大統領制度か議院内閣制かで、意見が別れた。

当時、憲法起草委員会の中で指導的な役割を演じた人は兪鎮午（ユ・ジン、1906年5月13日 - 1987年8月30日）であった。兪鎮午は京城帝国大学で法律を勉強した人で、当然かも知れないが、議院内閣制を支持し憲法草案を作った。当時憲法について詳しい人は少なかったし、知っているのは日本の憲法とドイツとフランスの大陸法ぐらいであった。1948年6月12日、憲法起草委員会は政治制度として議院内閣制を投票で決めた。まだ、残っているのは経済関係の条文で、6月21日までに完成し、国会へ提出すると報告した。



< 写真 2 . 憲法起草委員 >

李承晩は怒った。" 法律は国の土台である。アメリカのような大統領制度ではない限り民主主義はうまく進まない" と言った。また、李承晩は「40年間独立するため戦ったのは国民に権利を与えるためだった。政党に権力を与えたら、政党間の権力闘争で国の経営ができなくなる」と考えた。李承晩は朝鮮の亡国の原因の一つが党争と思い、それは議院内閣制とあまり差がないものだと思ったのかもしれない。

憲法起草委員と李承晩との対立があったが、結局、兪鎮午が作った案を修正して大統領制度(大統領は国会で選出)とした。大統領制度でありながら、議院内閣制の要素も入っていた。そして、7月17日に憲法は国会へ提出され満場一致で可決された。付言すると1987年、民主化運動の中で韓国は今のような大統領を直接選挙で決めるとしたが、それは李承晩が考えたものと同じである。

最後は韓国の制憲憲法（注*）を少し見よう。

第1條 大韓民国は民主共和国である。

第2條 大韓民国の主権は、国民に存し、すべての権力は、国民から由来する。

第3條 大韓民国の国民となる要件は、法律で定める。

第4條 大韓民国の領土は、韓半島及びその附属島嶼とする。

（つまり北韓は国として認めていない。）

第10條： すべて国民は人間として尊厳と価値を持ち、幸福を追求する権利を持つ。国家は個人が持っている不可侵の基本的な人権を認め、それを保証する義務を持つ。

事前準備もなく短期間で紙1枚に書いた103條の憲法をもって大韓民国という国が誕生した。



< 写真3. 制憲憲法に署名する李承晩 >

大韓民国憲法の制定は、1948年5月10日の総選挙後、同年6月1日の第一回国会で設置された「憲法起草委員会」が憲法草案を国会に提案する形式で進められた。これにより成立した憲法のことを韓国では制憲憲法と呼称している。

（注*）1948年7月12日に制定（7月17日公布）された当時の憲法のことを韓国では「制憲憲法」と呼称している。

(つづく)

図8に示すアメリカ海軍のグラマン・F4F・ワイルドキャットは太平洋戦争初期に零戦と戦ったアメリカ海軍の主力艦上戦闘機です。速度が遅い上に鈍重で、性能的には零戦に対抗できませんでしたが、いかにも頑丈そうでした。零戦という画期的な艦上戦闘機を開発してパイロットの個人技で戦った日本軍に対して、アメリカはまず学校を開設して多数の操縦士を養成し、大量生産した戦闘機で団体戦を挑みました。その効果が徐々に表れて、大馬力のエンジンを積み、強固な装甲を施して高速で飛ぶ戦闘機を大量に生産したアメリカに日本軍が次第に圧倒されていくこととなります。



図8 . 太平洋戦争初期におけるアメリカの主力艦上戦闘機グラマンF4Fワイルドキャット

チャンスポートF4U コルセア(図9)は大型で高速のアメリカ艦上戦闘機で、逆ガル型というカモメの翼を裏返したような独特の翼を持ち、初期にはトラブル続きだったのですが、次第に真価を発揮しました。



図9 . アメリカから英海軍に供給された艦上戦闘機チャンスポートF4Uコルセア

アメリカにはこれらとは異なった性格の戦闘機もありました。ロッキードP38 ライトニング(図10)は三胴

式のユニークな形状でした。山本五十六連合艦隊司令長官が乗っていた飛行機はこのP38に撃墜されたのですが、これはこの飛行機の性能が優れていたというより、日本が情報戦に負けて暗号を解読されたためであると言われています。



図 1 0 . アメリカ空軍の戦闘機ロッキード P38 ライトニング



図 1 1 . 第 2 次世界大戦を通じて活躍したアメリカ空軍の
ノースアメリカン P 5 1 ムスタング

ノースアメリカン P51 ムスタング (図 11) は、高出力エンジンで強引に速度を上げる感じのアメリカ機とは対照的に空力特性に優れた設計で、低出力ながら燃費の良いアリソン社の水冷エンジンを積んでいたため航続距離が長く、長距離爆撃機の護衛に使われました。その後、英国のロールスロイス・マーリンをライセンス生産したパッカード・マーリンエンジンに換装してからは出力も増して、バ

ランスのとれた万能戦闘機としてヨーロッパと太平洋で大活躍をしました。

グラマン F8F ベアキャット (図 12) は日本軍にとどめを刺すために開発されたアメリカ海軍の戦闘機で、日本の飛行機を研究して高出力、高速、高運動性、高燃費、強固な装甲とあらゆる点で日本機を凌駕した艦上

戦闘機となりました。戦争が科学技術を進歩させるというのはある意味では本当だと思います。しかし実戦配備の前に日本が降伏したので、太平洋戦争には参戦できませんでした。その後、朝鮮戦争に参戦したようですが、ソ連製のジェット戦闘機ミグ 15 が出てくるともう出番はありませんでした。



図 1 2 . 太平洋戦争に間に合わなかったグラマン F8F ベアキャット



図 1 3 . ホーカー・ハリケーンに護衛される英空軍の軽爆撃機 ブリストル・ブレナム

今年のショーには第 2 次大戦前に開発された英国空軍の軽爆撃機 ブリストル・ブレナム (図 13) が復元されて登場しました。この飛行機はなかなか味のある形をしています。ヨーロッパ戦線ではあまり活躍できなかったようです。



図14 . ドイツの工業を壊滅させたアメリカ空軍の重爆撃機 B 1 7 フライングフォートレス

ヨーロッパでドイツ軍にとどめを刺した主役は米空軍の大型爆撃機ボーイング B 1 7 フライングフォートレス (図14) でした。当時としては進歩的で空気抵抗の少なそうな設計で、大量の爆弾を積んで高速で飛行することができました。アメリカはこの爆撃機を大量生産してドイツの工場地帯にじゅうたん爆撃を行い、ドイツの工業を壊滅状態に陥れたのです。そのためドイツでジェット機、ロケット機、ミサイルなどの高性能な新兵器が次々に開発されても大量生産することができず、戦局を有利にすることができませんでした。その後、B17 がさらに進歩してボーイング B29 ストラトフォートレスという画期的な爆撃機が開発されて一万二千メートル以上の日本機が到達できない高空から爆撃を行い、日本の市民が大量に殺戮されることとなります。

アメリカ空軍の中型爆撃機 ノースアメリカン B25 ミッチェル (図15) も元気な姿を見せてくれました。この飛行機は



図15 . アメリカ空軍の中型爆撃機 ノースアメリカン B25 ミッチェル

1942年にドーリットル空襲で初めて日本を爆撃しましたが、この時には航空母艦から飛び立ち、爆撃後はソ連の空港に着陸したそうです。

アメリカから供給された飛行機によって英国はヒトラーに対抗することができ、アメリカの参戦によりヨーロッパ戦線で次第にドイツが劣勢になっていきました。同時にアメリカは太平洋でも日本軍を圧倒することになります。Duxfordのエアショーでは70年経過してもアメリカ機のスピードは圧倒的で、改めて当時のアメリカの工業水準の高さがわかりました。日本はえらい国と戦争をしたものです。

なお、インターネットでエアショーの内容が紹介されているので、興味のある方は「Flying Legends 2015」などと検索してご覧ください。

(おわり)

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

【要領】

宛先は京機会の e-mail: jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですが、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂く方が有り難いです。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願い致します。

発電用蒸気タービン制御の歴史

(1)

History of the Steam Turbine Control

藤川 卓爾 (S42 年卒)

転載元：火力原子力発電技術協会，

「火力原子力発電」, Vol. 63, No. 7, pp. 11-29, (2012-7)

1 . はじめに

火力発電プラント制御の歴史の一環として，蒸気タービンの制御の歴史について述べる。ボイラは燃料流量と給水流量と空気流量の3つの制御対象があり，ガスタービンは燃料流量と空気流量の2つの制御対象があるのに対して，蒸気タービンの制御対象は蒸気流量の1つだけである。制御対象が少ないので制御の複雑さはないが，高速回転機械として負荷遮断時の過速防止を含めた速度制御が最重要事項となる。大容量ガスタービンは圧縮機が直結されているのでこの点においては蒸気タービンの方が厳しい条件にさらされる。

2 . 初期の蒸気タービンの制御^{(1) ,(2) ,(3) ,(4)}

蒸気タービンの起源は1世紀ごろ(参考文献(1)では紀元前120年)のエジプトの技術者ヘロン(Hero or Heron)のタービン(図1)とされている。これが反動タービンの起源である。衝動タービンの起源とされているのは，イタリアの建築家ブランカ(Giovanni Branca, 1571 ~ 1645)が1629年に著書「機械」に掲載したものである(図2)。これらのタービンはもちろん発電機を駆動するものではないので負荷遮断による過速を心配する必要はない。内燃機関と同じく，燃料の量を加減することによって速度を変化させていたと思われる。

近代的な蒸気タービンとして実用化されたスウェーデンのド・ラバル(Gustaf de Laval, 1845 ~ 1913)のタービン(図3)は回転数26,000rpmであったが，彼が目指したのは牛乳を分



図1 ヘロンの蒸気タービン

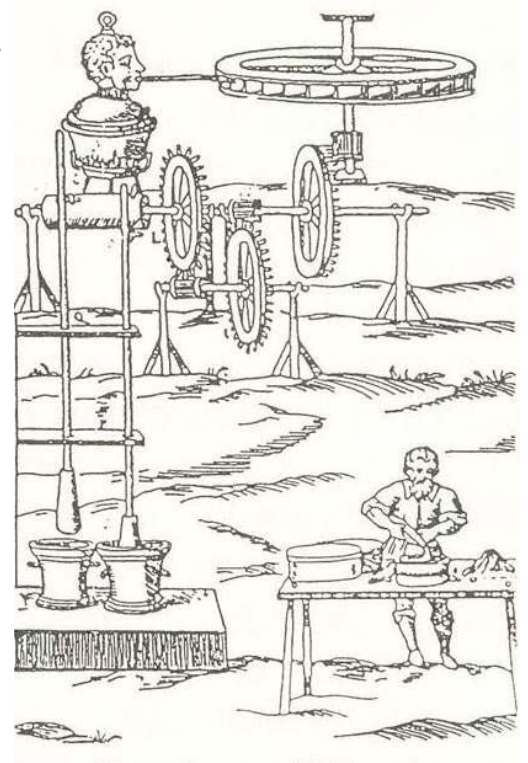


図2 ブランカの蒸気タービン

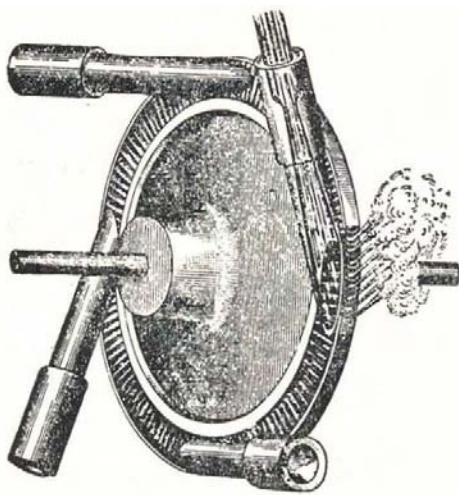


図3 ド・ラバールの衝動タービン

離するための高速回転の達成であり、発電用や船舶の駆動用ではなくもっぱら潤滑油と水の遠心分離機に適用された。このことから速度制御は余り重要視されていなかったと思われる。

一方、英国のパーソンズ(Charles Algernon Parsons, 1854 ~ 1931)は多数の羽根列を使用して蒸気の熱エネルギーを小刻みに速度エネルギーに変換することによって、蒸気速度が過大になることを避け、回転数を実用上都合のよい値に保つことができる反動式の軸流多段タービンを開発した⁽⁵⁾。写真1にパーソンズが1884年に製作した7.5kWのタービンを

示す。それでも回転数は18,000rpm(参考文献(1)では17,000rpm)とまだ高かった。パーソンズのタービンは初期から発電機の駆動用に用いられたので速度制御についても工夫がなされた。

2.1 パーソンズ第1号タービンの制御⁽⁵⁾

タービン主軸に直結された遠心ファンによって大気圧よりも低い負圧を作る。この遠心ファンは円板に複数の半径方向の穴を設けたもので軸の回転により円板の中心に設けられた穴から空気を吸い込んで半径方向に排出する。このようにして作られた負圧は写真1の左側に見える皮製のダイアフラムを変形させる。ダイアフラムの中心にはロッドが取り付けられており、そのロッドの動きがタービン

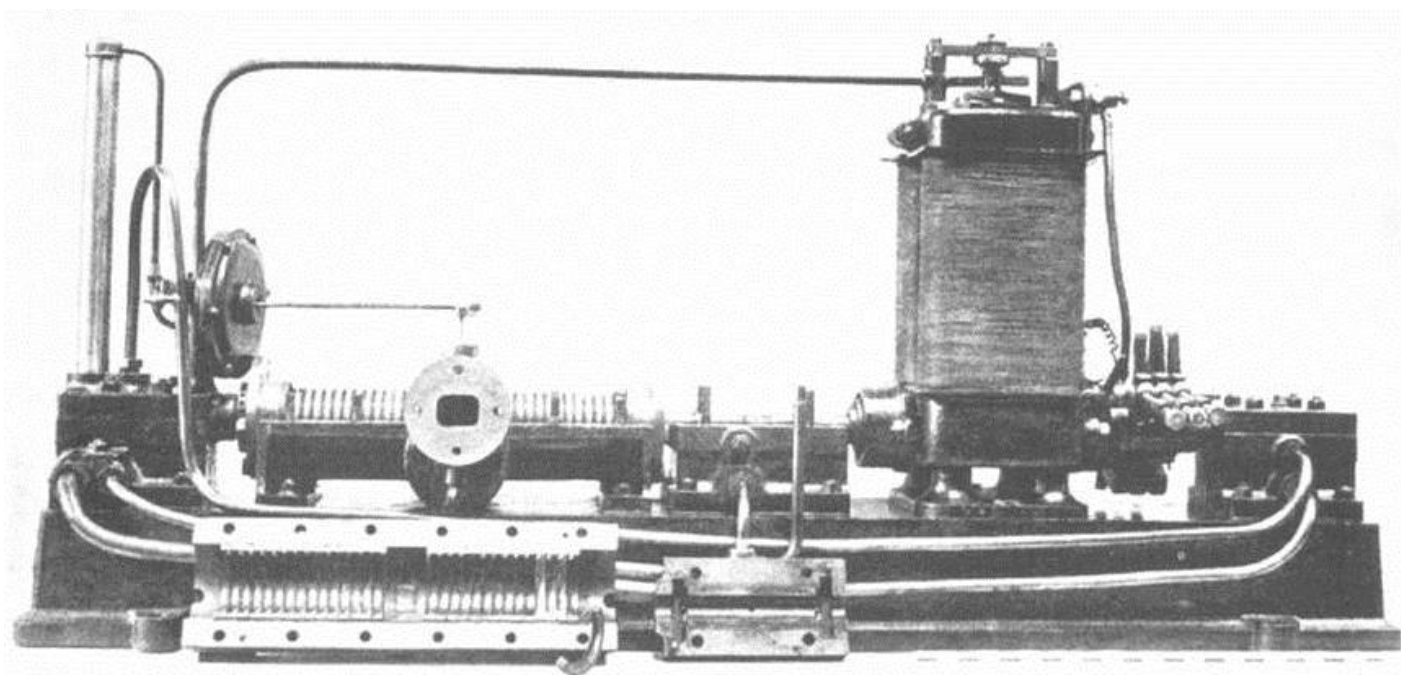


写真1 パーソンズの軸流多段タービン

入口のスロットル弁を駆動する。回転数が上がるとダイアフラムの後の負圧が増してスロットル弁を閉める。

この制御システムに加えて発電機端子電圧に従って速度を微調整する電氣的な制御システムが設けられている。写真1の右側に見える発電機の上部に、中心を支持されて鉛直軸の周りに回転可能な軟鉄のバーが設けられている。発電機の磁力によりバーは磁場と平行になろうとするが、調整可能なバネがその動きを戻そうとしている。磁力の影響を受けたバーの動きによって、バーの一端が上記の遠心ファンの吸気側に接続されたパイプの入口を横切って少し移動する。このようにして遠心ファンの吸気口が発電機の極間の磁力に比例して絞られ負圧が増大しタービンの速度を抑える。

< 参考文献 >

- (1) 菅原菅雄：蒸気タービン，養賢堂 ,(1967-12)
- (2) 山本充義：蒸気タービン事始め - 新しい動力源を求めて - ，ターボ機械，Vol.22，No.3，pp.28-35 ,(1994-3)
- (3) 富塚清：動力の歴史，三樹書房 ,(2002-5)
- (4) 藤川卓爾：蒸気タービンの歴史(1)，火力原子力発電，Vol.61，No.7，pp.31-44 ,(2010-7)
- (5) R.H.PARSONS：THE DEVELOPMENT OF THE PARSONS STEAM TURBINE，CONSTABLE AND COMPANY LTD ,(1936)
- (6) 藤川卓爾：蒸気タービンの歴史(2)，火力原子力発電，Vol.61，No.8，pp.33-45 ,(2010-8)
- (7) 火力原子力発電技術協会：Handbook for Thermal and Nuclear Power Engineers (English Edition of the 7th Revision)，pp.256-257 ,(2008-3)
- (8) 吉田 孝太郎：我が国における蒸気タービンの発達，日本機械学会誌 機械学会創立40周年記念号，第41巻，第253号，pp.440-452 ,(1938-4)
- (9) 藤川卓爾：蒸気タービンの歴史(3)，火力原子力発電，Vol.61，No.9，pp.36-61 ,(2010-9)

(つづく)

H27 晦日会（河本教授研究室同窓会）開催報告

河本研OB有志の同窓会である晦日会が平成27年8月29日（土）17時よりホテルグランビア大阪19階アブで開催されました。10名が集まりました。4年ぶりに参加された吉田さん・河野さんを中心に自由に飲食・歓談をしました。3時間があっという間に過ぎ、集合写真を撮ってお開きになりました。毎年同時期に同場所で開催いたします。次回は平成28年8月27日（土）に開催します。

本会は前回の案内に返信をいただいた方に案内することで進めています。関心を持たれた方は幹事川合等（S42卒）まで連絡ください



1 . 平成 28 年度経済産業政策の重点、概算要求・税制改正要望について

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/index.html>

2015.8.28 経済産業省

経済産業政策の重点

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/00.pdf>

平成 28 年度 経済産業政策の重点のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/01_1.pdf

平成 28 年度 経済産業省関係概算要求のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/01_2.pdf

平成 28 年度 経済産業政策の重点

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/01_3.pdf

平成 28 年度 資源・エネルギー関係概算要求のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/02_1.pdf

平成 28 年度 資源・エネルギー関係概算要求の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/02_2.pdf

平成 28 年度 中小企業関係概算要求等の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/03_1.pdf

平成 28 年度 知的財産政策関係概算要求等のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/04_1.pdf

平成 28 年度 知的財産政策関係概算要求等の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/04_2.pdf

平成 28 年度 経済産業省関係財政投融资要求の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/05_1.pdf

平成 28 年度 産業技術関係概算要求の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/06_1.pdf

平成 28 年度 貿易再保険特別会計概算要求の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/07_1.pdf

平成 28 年度 機構・定員要求

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/08_1.pdf

平成 28 年度 税制改正に関する経済産業省要望のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/09_1.pdf

平成 28 年度 税制改正に関する経済産業省要望の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pdf/09_2.pdf

2 . 平成 28 年度内閣官房予算概算要求の概要

内閣官房

http://www.cas.go.jp/jp/yosan/zaimu/h28_yosan_gaisan.pdf

3 . 平成 28 年度内閣府重点施策について

H27.8

<http://www.cao.go.jp/yosan/juten/juten28.html>

平成 28 年度内閣府重点施策のポイント

<http://www.cao.go.jp/yosan/juten/juten28/juten28point.pdf>

平成 28 年度内閣府重点施策について

<http://www.cao.go.jp/yosan/juten/juten28/juten28.pdf>

【関連リンク】

経済財政運営と改革の基本方針 2015（骨太の方針 2015）について

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2015/decision0630.html>

各種要求については、以下のリンク先を御参照ください。

平成 28 年度予算概算要求の概要

http://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/h28/gaiyou_h28.pdf

平成 28 年度税制改正要望

<http://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/h28/zei/28zei.pdf>

4 . 平成 28 年度農林水産予算概算要求の概要について H27.8.31 農林水産省

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/150831.html>

URL: <http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

<添付資料> 平成 28 年度農林水産予算概算要求の概要について

http://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/28y_gaiyo.pdf

5 . 平成 28 年度税制改正要望

H27.8.31 農林水産省

<http://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/150831.html>

平成 28 年度税制改正要望主要事項

<http://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/pdf/150831-01.pdf>

平成 28 年度税制改正要望(全体版)

<http://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/pdf/150831-02.pdf>

6 . 平成 28 年度組織・定員要求について

H27.8.31 農林水産省

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsho/150831.html>

添付資料 平成 28 年度組織・定員要求について

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsho/pdf/pr.pdf>

7 . 平成 28 年度総務省所管予算概算要求の概要

H27.8.28

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kanbo04_2015082813.html

http://www.soumu.go.jp/main_content/000374561.pdf

8 . 国土交通省、平成 28 年度概算要求等を公表

H27.8.27

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004222.html

平成 28 年度概算要求においては、「東日本大震災からの復興」を加速させるとともに、「国民の安全・安心の確保」、「豊かで利便性の高い地域社会の実現」及び成長戦略を通じた「日本経済の再生」に取り組むこととしています。また、平成 28 年度国土交通省税制改正要望及び国土交通省重点政策についても公表しております。

平成 28 年度予算概算要求概要

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004219.html

<http://www.mlit.go.jp/common/001101207.pdf>

平成 28 年度国土交通省税制改正要望

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004215.html

税制改正要望事項（平成 27 年 8 月 27 日）(PDF 形式)

<http://www.mlit.go.jp/common/001101375.pdf>

税制改正要望問合せ先一覧（PDF 形式）

<http://www.mlit.go.jp/common/001101376.pdf>

国土交通省重点政策 2015

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000020.html

国土交通省重点政策 2015

現在我が国は、東日本大震災からの復興加速、防災・減災等国民の安全・安心の確保、我が国の主権と領土・領海の堅守、人口急減・超高齢化の下での地域活性化や、重要な成長戦略である観光立国の推進・国際競争力強化、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への対応など様々な課題に直面しています。これらの大きな課題に対応するためには、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、全国に多数の地方支分部局を持つなど、現場に強い国土交通省が、その施策と組織を総動員する必要があります。その際には、急激な人口減少・超高齢化の進行、巨大災害の切迫、インフラの老朽化等といった今後の時代の潮流と課題に対して、中長期的な見通しを持って、国土交通政策を計画的に推進するとともに、とりわけ社会資本整備に関しては、その本来の役割であるストック効果を最大限発現できるよう取り組むことにより、将来世代にわたる国民の豊かな暮らしを実現していくことを目指すこととしております。このような観点から、国土交通省が重点的に取り組もうとしている施策全体を俯瞰し、今後の施策の方向性を体系的に示すものとして、この度「国土交通省重点政策 2015」を策定致しましたので、お知らせ致します。

「国土交通省重点政策 2015」概要

<http://www.mlit.go.jp/common/001101574.pdf>

「国土交通省重点政策 2015」本文

<http://www.mlit.go.jp/common/001101575.pdf>

参考資料

1 . 我が国が直面する課題への対応

「1 . 東日本大震災からの復興加速」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101577.pdf>

「2 . 国民の安全・安心の確保」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101578.pdf>

「3 . 我が国の主権と領土・領海の堅守」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101579.pdf>

「4 . 豊かで利便性の高い地域社会の実現」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101580.pdf>

「5 . 観光立国の推進」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101581.pdf>

「6 . 国際競争力の強化と世界の経済成長の取り込み」参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101582.pdf>

「7 . 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への対応」

参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101583.pdf>

. 国土交通政策の計画的推進

参考資料

<http://www.mlit.go.jp/common/001101649.pdf>

9 . 平成 28 年度予算概算要求主要新規事項等の概要 平成 27 年 8 月環境省予算

<http://www.env.go.jp/guide/budget/index.html>

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h28/h28-gaiyo.html>

平成 28 年度環境省重点施策（平成 27 年 8 月）

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h28/h28juten-1.pdf>

平成 28 年度環境省重点施策概要（平成 27 年 8 月）

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h28/h28juten-1-gaiyo.pdf>

10 . 平成 28 年度予算、機構・定員要求について

H27.8.31 金融庁

<http://www.fsa.go.jp/common/budget/yosan/28youkyuu.html>

<http://www.fsa.go.jp/common/budget/yosan/28youkyuu/01.pdf>

1 1 . 平成 28 年度予算概算要求

文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h28/1361362.htm

平成 28 年度文部科学省 概算要求等の発表資料一覧 (8 月)

http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h28/1361286.htm

1 2 . 平成 28 年度厚生労働省所管概算要求関係

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/16syokan/>

1 3 . 平成 28 年度経済産業省概算要求の PR 資料一覧 2015.8.28 経済産業省

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pr/index.html#ippan>
一般会計

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pr/index.html#ippan>
エネルギー対策特別会計

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pr/index.html#energy>
特許特別会計

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pr/index.html#tokkyo>
復興特別会計

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2016/pr/index.html#fukkou>